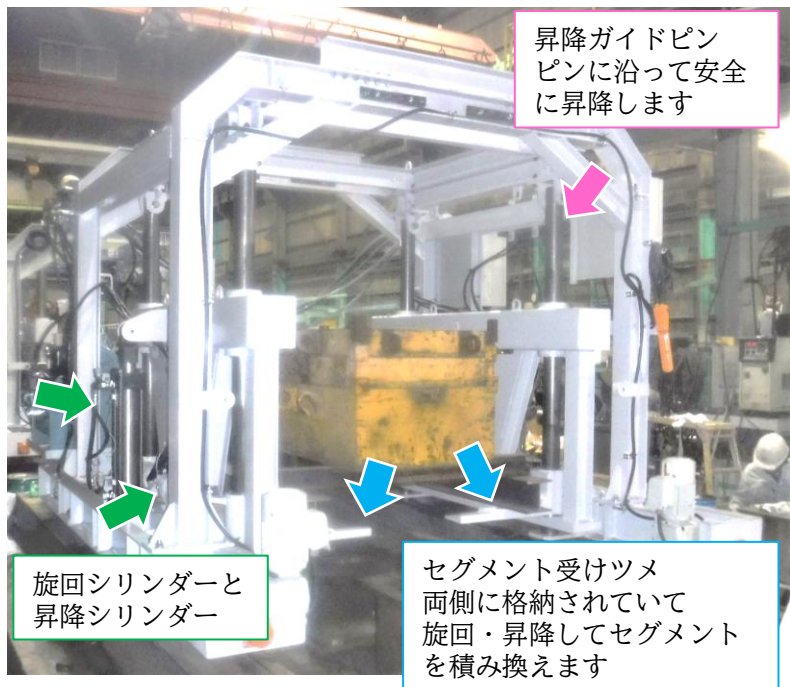


自走式セグメントセッター台車



(左) 上部の左右両端は元々直角に設計。ご覧のように風管や配線に干渉するので斜めにデザイン改善。

(右) セグメント台車とともに。ジャストサイズ\(^o^)/



複雑な配線が多様な動作に干渉しないように整理整頓と試運転をくり返します。



荷重テスト中

受けツメ：ユニットからの距離が左右で異なる為か、動作のタイミングを合わせることがけっこう難しいですね。

設計・溶接・組立、試行錯誤をくり返して 芸術的レベルでピタッとはめる

「立坑下でトラバーサの代わりになる」「ベルトコンベヤーみたいにスムーズに移動する」「台車連結作業におけるヒューマンエラーをなくし安全性を高めたい」そんなお客様の声から産声をあげたのがセグメントセッター台車です。セグメントセッター台車は、立坑の上からグラブで降ろしてきたセグメントをセグメント台車へ移載します。セグメント受けツメは旋回・昇降の動作があり、それぞれに油圧シリンダーを含む機構があります。自走も加え、動作の種類が多く複雑なうえに強度維持も必須です。それら全てをパーフェクトにピタッとはまった芸術作品をお届けします。

汎用性を目指して 小さなニーズから大きな発見へ 新たなフィールドに視線を上げる

今はお客様の要望や現場状況等の細かい条件に合わせてオーダーメイドで製作することがほとんどで、現場での組立や調整は当社のサービス部門が行うことが多いです。しかし、一から作り始めなくても、サイズを伸縮させたりユニットの位置を変更したりすることで、次の現場で継続して稼働できる。また、いつでも誰でも組立や調整をしやすい、そんな汎用性をもたせたセッター台車に進化させていきたいです。構造が複雑なので道は険しそうですが、気づきを大切に、小さなニーズから大きな発見へ繋げていきます。その先に『コスト削減×高品質×安価提供』が見えてくるでしょう。

今しばらくお待ちください(/・ω・)/